

よく観る力～カブトムシの観察～

令和8年8月21日



園庭のシマトネリコの木から甘い匂いにつられて、カブトムシがたくさん集まってきています。いつもは虫を見つけたらすぐに捕まえる子ども達と今回は木でなにをしているのか様子を観察してみることに。保育者が「ここみて!」「これはなに?」とあれこれ言わなくても、子どもたちはそれぞれ興味があるところをじっと見つめていましたよ。

お腹を空かせ蜜を飲む姿、交尾をする姿、蜜を飲もうとして他のカブトムシと喧嘩になり上へ逃げようとしている姿など一つの木で同じカブトムシでも様々な姿が観察できました。

日々観察してしていくことで「昨日と違う」「まだここにいる」など毎日同じようで違う姿を楽しんでいたようにも感じます。

カブトムシの様子をじっくり観察する中で、「何をしているのかな」と不思議に思ったり、体の動きに興味をもったりする姿も見られました。「赤ちゃん作る時は体に力を入れるからブルブル震えるんだね」「蜜飲むのにお口パクパクしてるね」などよく見てると感心した担任です。疑問に思ったことはその場で保育者が答えるのではなく共に図鑑で調べたり、家庭で保護者の方にきいてくる子も見られました。

身近な生き物との関わりを通して、命の不思議や面白さを感じている子どもたち。これからもたくさんの不思議や面白さを共に味わい学びに繋がっていきたいです。

